



ほうかつだより

回
覧

認知症になっても安心して暮らせるまちを目指して

現在久留米市の高齢者人口は約8万4000人（令和4年4月1日現在）、**認知症高齢者は約1万3800人**と推計されます。

急速な高齢化とともに、認知症は誰もが関わりうる身近なものとなっています。認知症の進行を遅らせたり、症状を軽減するためには**早めに気づき、早めに対応**することが重要です。

加齢による物忘れと認知症による記憶障害の違い

《加齢による物忘れ》

- ・何を食べたか思い出せない
- ・経験した出来事を**部分的**に思い出せない
- ・物の置き場所を思い出せない時がある
- ・約束をすっかり忘れてしまったことに自分で気づく



《認知症による記憶障害》

- ・食べたこと**自体**を忘れている
- ・経験した出来事**全体**を忘れている
- ・置き忘れ・紛失が**頻繁**になる
- ・約束したこと自体忘れ、忘れたことの**自覚がない**

認知症になるとどのように感じるの？



●●不安を感じる**ことが**あります●●●

「自分は今どこにいるんだろう？」、「この先自分はようになっていくんだろう・・・」、「自分は家族に迷惑をかけているのではないか・・・」というような不安を感じるようになります。



●●怒りっぽくなる**ことが**あります●●●

気持ちを表現できる言葉が出てこない、相手の言葉が理解できないことなどから、もどかしい気持ちを抱えています。

認知症の人を支えるために…

だれよりも心配になるのは認知症になった本人です。認知症の人が不安を感じながら生活していることを十分に理解して接することが重要です。周りに認知症かな？と気になる方がいたら、**かかりつけ医や地域包括支援センター**などに相談しましょう！



包括支援センターでできること

相談内容に応じて**受診に関する相談、各種サービスや事業への紹介、地域の情報**などをお伝えします。少しでも早く対応することで、認知症の進行を遅らせることや介護の負担軽減にも繋がります。



久留米市には『**認知症支援ガイドブック**』（右写真）があります。これは、認知症について不安や悩みを抱えている人やその家族に向けて作られたものです。

★主な内容★

- ・認知症のよくある症状や対応の**ポイント**
- ・認知症予防対策や相談できる**医療機関情報**
- ・介護保険サービス、高齢者福祉サービス、**成年後見制度**の紹介などぜひ、ご活用ください！！

設置場所：市役所、各総合支所、各地域包括支援センター



ガイドブック
QRコード



地域包括支援センターは、地域の皆様や関係機関との協働による高齢者支援や専門的な地域課題を解決するためのネットワークづくりを目指します。

11月号では権利擁護・高齢者虐待予防啓発に関する内容についてお伝えします。

